



比内図書館の変化

比内図書館は、比内公民館の中にある、ワンフロアだけのちいさな図書館です。大きな窓からの光で明るく、人が集まる公民館の一角にあります。人の気配が感じられながら、図書館らしい静けさが保たれています。そんな「比内図書館」の成長の過程をご紹介します。

❁はじめは「比内町の公民館図書室として」

昭和52年3月、比内町に「図書室」がオープンしました。といっても、このときは、公民館（就業改善センター）内に独立した部屋はまだなく、公民館の一角に本棚を設置し、毎週金曜のみ、貸出を行っていました。

図書室の本格スタートは、昭和56年7月、公民館内に閲覧スペースのある「図書室」として独立した部屋が設けられたことによります。専任の職員も配置され、本の貸出も週6日になりました。昭和63年10月には、閲覧室が増設されます。公共図書館、独立図書館には及ばないにせよ、児童コーナー、郷土コーナー、レファレンスサービス、おはなし会など、その機能を充実させて活動していきます。そして、合併時の平成17年6月20日に名称が「大館市立比内図書館」となり、「図書室」から「図書館」に変わりました。10月には図書館情報システムが導入されました。平成20年4月からは、比内公民館の改修工事に伴い、比内総合支所2階に間借りする形で一時移転し開館していました。平成21年1月に改修が完了し、図書館スペースは増築され、以前の倍ほどの面積になるという、大きな変化とともに現在の場所に移転開館しました。

❁比内図書館の蔵書

現在の比内図書館の特長として、文庫本の所蔵が（結構）あるということが挙げられます。他の図書館には（ほとんど）ないのになぜ比内図書館では取り扱いがあるのか、それは蔵書のボリューム不足に悩んだことにありました。図書室としてスタートした時も「1世帯1冊献本運動」と寄贈本に助けられ、蔵書を増やしてきました。今度は、改修移転の際に図書館の面積が増えたため、書架が増やされたのですが、本の数は変わりませんでした。スキマだらけの本棚では、せっかく新しくきれいになった図書館としてあまりに寂しい！ということで、以前からの寄贈でいただいていた文庫本を蔵書として増やしてみることにしました。大きな図書館では管理がしにくいサイズ等のため、他館には置いていない文庫本が、比内図書館にはあつたりするのはそんな事情からなのでした。持ち運びに便利と需要の高い文庫本です

が、文庫で書き下ろされるものが増えていたり、小さな文庫サイズの本の方が字が大きくて読みやすくなっている場合があります。ワンフロアで完結した見通しのよい比内図書館は、ついでに、と利用していただくことがよくあります。文庫本のよりに手に取りやすい、ふらりと気軽に入りやすい比内図書館です、ぜひ一度お立ち寄りください。（比内：岸）

❁ 工事に伴う駐車場規制のお願い

松下村塾前の庭に、竹村記念公園から松下村塾石碑が移動してきます。8月3日（木）から5日（土）までの工事期間、大型の工事車両が入るため、ラウンジ側（南西側）の駐車場が利用できません。ご不便をおかけしますが、東側（従前）の駐車場をご利用ください。駐車場が満車の場合は、少し離れますが、文化会館の駐車場をご利用ください。安全第一でお願いいたします（保）